

令和5年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(萱瀬地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
1	新庁舎建設について	新庁舎建設において、以前の建設候補地と移転先の土地の広さはどのくらい違いますか。	以前の建設候補地である現庁舎及びポート第5駐車場よりも庁舎の移転先である市民プール(森園ファミリースポーツ広場を含む。)のほうが、約5,000~6,000㎡程度狭くなっています。	総務部長	総務課新庁舎整備室	総務部長回答のとおり
		新庁舎が移転しても給食センターは同じ場所に残るのでしょうか。	小・中学校給食センターはそのまま残ります。	総務部長	総務課新庁舎整備室	総務部長回答のとおり
		新庁舎の駐車場は、どのくらいの台数駐めれる予定ですか。今の市役所に行くといつも駐車場がいっぱいで、今後も人口が増加することから、5階建てや6階建てにし、地下駐車場を作るなど、駐車台数に余裕をもっていたきたいです。	来庁者駐車場の駐車台数については、現在の計画では225台を予定しており、十分に確保できると考えています。いただいたご意見については、今後の新庁舎整備の参考にさせていただきます。	総務部長	総務課新庁舎整備室	総務部長回答のとおり
2	新大村駅前市有地開発事業について	新大村駅前開発についてですが、大村空港では以前から送迎車両が駐車禁止箇所に停まってましたが、駐車場が30分間無料と周知徹底されてから、かなり少なくなったと感じています。新大村駅も今後、博多駅まで乗換なしで行けるようになると、もっと利用者や送迎車両が多くなり、長崎空港と同じような状況になってしまうのではないかと懸念しています。この市有地の開発で駐車場を整備していただき、例えば30分間送迎車両は無料で停めれるようにすると、対策ができるのではないかと思います。そういう計画はありますか。	現在、駅前に市有の駐車場がございますが、開発予定地の中には新たな市有駐車場は計画はございませんが、西側にJRが立体駐車場を建設しており、264台駐車可能となっております。さらに、新幹線の利用していただく料金も低額になるため、パークアンドライドという使い方もできるような計画となっております。なお、無料設定は市有の駅前駐車場のみとなっております。	大村市技監	新幹線まちづくり課	大村市技監回答のとおり
3	しあわせ循環コミュニティ事業について	年配の方だとスマートフォンを持っていない方やアプリを操作できない方がいると思いますが支援はされる予定ですか。	対象は、お年寄りだけではなく市民の方全てが対象になっておりますが、お年寄りのスマホを使えない方が、どうやって使えるようになるか、すごく大事なことだと考えています。お年寄りの方がまずスマホを使えるようになるお手伝いを様々な方法を使ってやっていこうと考えてます。例えば、スマホ教室をスマホ会社と連携し開催する、市役所の2階でマイナポイント申請のお手伝いをさせていただいたような形でアプリをダウンロードする時のお手伝いを市役所でさせていただき、市役所職員が出張で地域の集まりなどに出向いて説明をするなど、様々な方法を使いながら、皆様にスマホを使っていただけるよう、支援をしていきたいと考えております。若い世代、子育て中のお父さんやお母さんがたくさんいらっしゃいますので、そういった市民の皆さんにも使っていただけるよう、まず最初にお年寄りの方が全員使っていただくというよりは、少しずつ使える方を広げていき、最終的に大村市の皆さんが持つスマホの中にはこのアプリがダウンロードされたいいなというのを目標にして、少しずつ皆様のご協力も得ながら一緒に広げていきたいと考えております。	企画政策部長	デジタル推進課	企画政策部長回答のとおり
		アプリの件ですが、スマートフォン以外でガラケーは使えるんですか。	スマートフォンでのサービスとなっております。	企画政策部長	デジタル推進課	企画政策部長回答のとおり
		今年度の結果を見据えて、来年度以降からは、更に予算が増額になりますか。	予算は来年度以降も、新たな取り組みや利用者を増やすための取り組みを進めていこうと考えてます。	企画政策部長	デジタル推進課	企画政策部長回答のとおり
4	地区別ミーティング開催後の対応方針の周知について	昨年の地区別ミーティングで様々な意見があったと思いますが、その意見に対する対応等は本日用意はされていますか。	昨年の地区別ミーティングでの主な質問、回答につきましては、まずは広報おむらで周知させていただいております。まとめたものにつきましては、大村市公式ホームページや各出張所で質問、回答、今後の対策等を周知させていただいております。また、個別の質問や後日ご質問等があった場合に対しても対応させていただいてるところです。	市民環境部長	地域げんき課	市民環境部長回答のとおり
		提案ですが、今回配布していただいた資料に昨年の意見や結果を加えていただきたいです。	早速、来年度からどういった形でできるか検討させていただきます。	市民環境部長	地域げんき課	市民環境部長回答のとおり
		市のホームページで公共下水との接続というところがありましたが、農業地区排水事業は公共事業ですか。	公共事業の中の農業集落排水事業ということで整理をしており、農村の排水の水質改善を目的に、整備をされた事業になります。国の補助事業を使って整備をした事業となります。	上下水道局次長	下水道工務課	上下水道局次長回答のとおり
		公共下水道の下水管と農業用地区の下水管が近々接続をされ、農業地区の処理場は廃止されると伺いましたが、間違いありませんか。連結は、いつ頃の予定ですか。	間違いありません。萱瀬地区は、令和5年度中に整備し、令和6年度から公共下水道に統合する予定でしたが、事業の財源確保が難しく、現在のところ、令和6年度中を目指して整備をする予定です。	上下水道局次長	下水道工務課	上下水道局次長回答のとおり

令和5年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(萱瀬地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
5	公共下水道と農業集落排水の連結について	<p>農業地区の給排水管を使用する人は、市街化地域で利用する人とは別に、処理場の環境整備作業を負担していますが、実情は、町内会に管理組合を組織され、非常に低位額を提供し、ほぼボランティアでやっており、丸投げ状態です。しかし、下水道を使用しているにも関わらず、町内会未加入者は一切負担なく、知らん顔しています。</p> <p>町内会の中で指定された人だけが作業を負担をし、事業の運営の一助を担っている現状ですが、下水道を利用する人は、均等に料金を支払い、作業も均等に負担をすべきと考えますがいかがでしょうか。</p>	<p>公共下水道は、都市計画において人口密度が高い場所を整備しております。</p> <p>農業集落排水施設は、農村地域の生活改善を目的に行っている事業で、地域にお住まいの方の支援がないと採算的にも厳しい状況です。管理組合につきましても、地域の支援をいただくということで進めた形になります。しかし、各地区から管理について整理をしていただけないかとの要望があつておりますので、どうしても管理組合では管理が厳しいというのがありましたら、下水道でお話しを聞かせていただいで、業務委託でやっていけいかどうか検討をしていきたいと考えております。</p>	上下水道局次長	下水道工務課	上下水道局次長回答のとおり
		<p>利用者は、農業地区となっておりますが、農業従事者が多数ではないです。その地区に住居を持っている会社員や公務員もいます。そういう方が市街地に住んでいないだけで、下水道処理代を支払っているにも関わらず、様々なことを負担しなければならないのは公平性に欠けるとは思いますがいかがでしょうか。</p>	<p>公共下水道は、都市計画区域内で整備するのが原則で、それ以外は農業集落排水で整備するようになっております。</p> <p>おっしゃるように様々な職業の方がお住まいですので、管理組合で難しいところがありましたら、相談をしていただき、検討させていただきます。</p>	上下水道局次長	下水道工務課	上下水道局次長回答のとおり
			<p>農業集落排水において、整備したところは、農業者のための処理施設という位置付けでした。</p> <p>農業集落排水の処理費用は、公共下水道より高額になりますので、料金の不足分を一般会計から繰り出していただき、同じ料金水準で運用しております。</p> <p>大村市の政策としましては、一般会計から赤字を補填してでも、大村市の汚水処理の料金は同じにしようという意図で、同じ料金になっておりました。</p> <p>また、農業集落がなく公共下水道もない地域は、浄化槽が使われておりますが、その負担についても、維持管理負担金を出し、負担が同じになるようバランスを取りながら料金を設定しております。</p> <p>今回の下水道への統合により、処理場が廃止になりますので、今までお願いしていた処理場の維持管理をしなくて済みます。そして、公共下水道に接続することによって、大村市の汚水は全て空港の近くの処理場で処理します。</p> <p>また、料金も大村市内全て今までどおり一緒にしますということで、今まで出てきた矛盾点を何とか解決する策として、統合ができるようになりました。</p> <p>なるべく早く整備し、維持管理などから手を離していただくよう取りかかっているところですので、ご理解をしていただければと思います。</p>	上下水道事業管理者	下水道工務課	上下水道事業管理者回答のとおり
	町内会の役割について	<p>町内会の加入率が非常に下がっていますが、市としては、町内会に対してどういう役割を担わせ、どういう活動を期待しているのか全くみえません。現状、入ってない或いは辞めた人たちのほとんどの意見は、金ばかり取って何もいいことがないという声がほとんどです。こういうことを是正していかない限り、どんどん町内会の加入者が減っていくと思います。</p> <p>また、町内会会費の中から地域防犯に対する費用、インフラの整備、消防団に対する協賛金も支払っていますが、町内会に入っていない人は知らんぷりをして、何にも協力せずに、その恩恵だけ受けています。</p> <p>市政の方はどういうシステムを構築し、或いは是正していこうという計画があれば教えていただきたいです。</p>	<p>転入、大村市市内での転居の場合に、市民課で町内会に加入しようというチラシを配布し、可能な限り町内会に入っていたため、町内会が、どんなことをしているのかということをもとめたものを配布しています。また、各小中学校の入学説明会のときにも、同じチラシを配布しています。他にも従業員の多い事業者や自衛隊などに直接行って、従業員の方もしくは隊員の方に、ぜひ町内会に加入をと、お願いをしている状況です。</p>	市民環境部長	地域げんき課	市民環境部長回答のとおり
6	黒木小学校の児童数確保について	<p>黒木小学校の児童減少が止まらないことに対して、特別転入学制度や市営住宅の提供はされていますが、他に具体策はありますか。</p>	<p>黒木小学校は、現在全校で17名、新一年生6名でしたが、施策というところが難しく、特別転入学制度で児童数の確保をしていくしかないと考えてます。</p> <p>方法としまして、今までコロナ禍で学校公開或いはオープンスクールができませんでしたので、黒木小学校の特色を出しながらオープンスクール或いは学校公開をすることで、他地区に呼びかけをしてアピールをしたいと考えています。</p>	教育政策監	学校教育課	教育政策監回答のとおり
		<p>特別転入学制度に申し込みが少ないところが、1つの原因となっているのでしょうか。</p>	<p>特別転入学制の申し込みは、やや少なくなっており、平成26年は12名の転入生がいましたが、その後1桁台になり、今年度は5名しかいません。</p>	教育政策監	学校教育課	教育政策監回答のとおり
		<p>他地区から黒木小学校に通うにあたり、通学が1番問題だと思えます。スクールバスが出れば、転入学生が増えると思えますが、通学に関しての対策は、何か考えられていますか。</p>	<p>通学に関しましては、4キロ以上ある場合は100%補助、3キロから4キロの場合は75%補助しているところでございます。</p> <p>スクールバスにつきましては、少し研究をさせていただきたいと思えます。</p>	教育政策監	学校教育課	教育政策監回答のとおり

令和5年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(萱瀬地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
7	市のマイクロバスの利用について	市のマイクロバスを今まで利用させていただいてましたが、コロナで2、3年動きが止まったことで、市のマイクロバスは廃止したと聞きました。小さな団体が、何かしようという時に動きが取れません。民間のバスを借りるのは予算的に厳しく今年は断念しました。今後、団体に対しての補助金やマイクロバス購入の計画はないかお尋ねします。	以前、マイクロバスを保有してましたが、マイクロバスを市で持つのが経費的にいいのか、民間事業者が所有しているマイクロバスを委託し、使わせてもらうのがいいのかということで、数年前から市でバスを持たずに市内等の事業者から委託する形をとりました。地域の皆さんが活動されるときに、目的に沿って担当課にご連絡をしていただければ、担当課からバスを借りるシステムがあるかと思えます。可能な限り、今まで通りの使い方を市の方も考えていきますので、担当課にご相談をいただいたうえで、使っていただく方法を考えていきますので、ご相談いただければと思います。	財政部長	契約課	財政部長回答のとおり ※補足 市のマイクロバスは、公用車という位置付けです。市が主催する行事等に使用する目的で各課からの申請を受け、バス運行基準に基づき運行していました。令和3年度から市所有から貸切バスの委託に変更し、申請1回ごとに借り上げています。なお、運行の取扱いは従来どおり変更ありません。
			今まで市のマイクロバスがあったときに、市のマイクロバスを使われていたようなものについては、マイクロバスが民間のバスに変わっただけです。使っていただけます。しかし、新たにマイクロバスを使われるものについては、別になります。	市長	契約課	市長回答のとおり
8	新型コロナウイルスワクチン接種について	2年前の7月に集団接種会場でワクチンを打ち、アナフィラキシーで医療センターに運ばれました。副反応報告書が出てると思い尋ねたら、何も出てないとの回答で、担当課の方は、「医師が副反応と認めてる方は、病院から提出されますが、報告が上がってないものは医師は認めてません。」ということと言われましたが、病院では副反応と言われてたにも関わらず、提出されませんでした。担当課から尋ねてくれないかお願いしたところ、「縦割りで大変申し訳ございませんが、ご自分でお願ひします。」と言われとてもつらかったです。泣く泣く自分で医療センターに電話し尋ねたら、2年近くかかって提出されました。また、9月20日から7回目のワクチン接種がまた始まり、大村市も市民の命と安全を維持を守るために接種が始まるかと思いますが、私と同じような辛い悲しい思いをされる方が1人でも少ない方がいいと思います。その辺を踏まえ、もう少し市民の力になっていただけたらと思いますがいかがでしょうか。	この問題につきましては、昨年から新型コロナウイルス感染症対策室でお話をさせていただいておるものと思っております。引き続き、ご要望等につきましては真摯にお話をさせていただきたいと思っております。個人的な問題ですので、改めてお話をさせていただければと思います。9月20日から始まる新型コロナウイルスワクチン接種ですけれども、強制ではなく、個人の選択の自由となっておりますので、望まれる方は打っていただき、望まれない方は個人の判断で考えていただきたいと思います。	福祉保健部長	国保けんこう課新型コロナウイルス感染症対策室	福祉保健部長回答のとおり
			医療機関に出す確認であって、マイナンバーカードでなければならないということはないと思えますし、保険証を出されて確認ができるものと思っております。大村市は、マイナンバーカードの申請率、交付率が90%を超え、多くの市民の皆様にご申請をいただき交付をさせていただいており、世の中ではマスクミで報道された中の情報が違うという問題は、大村市ではシステムの業者が違いますので起きておりません。また、マイナンバーカードの返納者は8月末で22名です。	市長	国保けんこう課 市民課	救済制度については本人に電話で回答済。 市長回答のとおり
9	都市計画道路鬼橋坂口線について	産直かやぜ交差点付近の道路拡幅の予定についてお伺いしたいです。	都市計画道路鬼橋坂口線という形で、エレナ竹松店から産直かやぜの前のところまで、道をつなぐということで計画案としての図面を市議会に説明をさせていただきます。今後、用途地域の見直しや、商業施設等の誘致などを進められないか計画しております。	市長	都市計画課	市長回答のとおり
			スケジュールにつきましては、令和6年度に説明会、都市計画及び事業認可の手続きを行い、令和7年度から事業着手を計画しております。車道は、片側1車線で20mの幅員の大きな道路を予定しており、両側に自転車専用通行帯や歩道も予定しております。	都市整備部長	都市計画課	都市整備部長回答のとおり
9	萱瀬小中学校合併について	萱瀬小中学校合併の件について、説明をお願いします。	令和4年10月、11月に萱瀬中学校の学校審議会、開発振興会、町内会長会、PTAの皆様にご現在の学校の状況、小規模校のメリットやデメリット、今後の事業計画の見通しを説明をさせていただきました。現在、合同の行事や学習或いは日常的な異年齢交流など特色ある教育活動を行っており、施設設備費の効率化ということで、学校施設長寿命化計画に合わせ、萱瀬小中学校の施設一体型校舎建築の提案をさせていただきました。時期につきましては、令和13年度頃に萱瀬小学校の改築予定があることから、そのタイミングに合わせ整備する説明をさせていただいたところであります。場所につきましては、地元の皆様のご意向をもとに、児童生徒、地元の皆様にとって最も良い案を考えていきたいと思っております。	教育政策監	教育総務課	教育政策監回答のとおり

令和5年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(萱瀬地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
10	避難所となっている小学校の体育館の一般利用について	8月8日の避難所開設に伴い黒木小学校も避難所となりましたが、太鼓の練習日で練習参加者は体育館に行かれていました。この場合は、市役所から体育館を使用しないように言うのか、校長先生から言うのか、どちらから言われますか。	避難所開設につきましては、安全対策課から直接校長先生にご連絡を差し上げて調整、開設をさせていただいてるところです。先ほどおっしゃった行事の方は、市では確認できておらずご迷惑をおかけしました。体育館を使わないように利用者へ周知する方法につきましては、確認をさせていただいて、改めてご回答をさせていただきたいと思います。	総務部長	安全対策課	通常であれば、学校施設(体育館)を使用する団体が、施設(体育館)の鍵を借用する際、「学校が避難所として開設されているので鍵の貸し出しができない。」旨を伝えることとしていますが、今回は土曜日であったために、避難所開設が決定する前に、鍵の借用がなされており、その対応が出来ていませんでした。 今後は、学校施設の鍵の貸出時や避難所開設時の施設利用者への連絡を確実にを行うことを徹底します。
11	自動車運転のマナーアップについて	坂口浄水場付近の道路が朝と夕方が非常に混む関係でゴミを捨てたりと運転マナーが悪いです。また、浄水場から坂口公民館におりる離合のところが狭く、車を詰められると、上り車線が入れず家に帰れません。もう1つ抜け道で使われているのが、原町公民館におりて、石の橋を渡って福重の方に抜ける道があります。2ヶ所が抜け道として使われますが、非常に混みますので、マナーアップを呼びかけていただきたいです。或いは拡張工事を是非検討していただきたいです。	現在のところ拡張の予定はございません。	都市整備部長	道路整備課	坂口浄水場と坂口公民館の間にある市道雄ヶ原池田2丁目線につきましては、現地を確認いたしましたところ、坂口公民館横の一部狭小区間で車両のすれ違いが困難な状況となっておりますので、地元関係者のご意見をお伺いしながら、道路拡幅について検討してまいりたいと思います。
	市道似田ノ尾北ノ川内線について	萱瀬から野岳に抜ける道路ですが、残り何百mがまだ終わっていないのですが、いつ頃完了予定になるか伺いたいです。	市道似田ノ尾北ノ川内線の災害復旧区間の通行禁止の解除の時期につきましては、斜面から石を受けるネットの中に大量の土砂が入っており、安全が確保できないということでしたので、ネットの設計及び工事発注を今年度早い時期に予定しております。順調に業務が進み、工場が完成すれば令和6年8月頃に通れるように考えております。しかし、安全が確認されなければ、時期は伸びる可能性があります。	都市整備部長	道路整備課	都市整備部長回答のとおり
12	防災マップの縮尺について	防災マップの縮尺の件について、萱瀬地区はダムや郡川沿いに多く土砂災害警戒区域や特別警戒区域がありますので、見えるようにしていただきたい。	防災マップの件につきましては、県が浸水想定区域や土砂災害警戒区域、津波災害警戒区域の指定をするようになっており、今年度市内の中小河川の浸水想定区域を新たに設定する話を伺っております。いつ設定されるかわかりませんが、新しい情報が入った時点で予算を確保し、更新していきたいと考えております。縮尺につきましても、現在の1万5000分の1から1万分の1に変更するか併せて検討します。	総務部長	安全対策課	総務部長回答のとおり
	琴平展望所に向かう道路の拡幅について	6月定例会において、琴平岳の市道整備の市の回答として、側溝蓋して道路幅を確保するということでしたが、山間部の側溝は、砂利や泥が詰まって溢れるため、側溝蓋ではなく道路拡幅をお願いしたいです。	土砂がたまるような心配はないと考えておりますので、ひとまず側溝蓋をかけて道幅を広くし、様子を見させていただきたいと思います。	都市整備部長	道路整備課	都市整備部長回答のとおり
13	町内会への募金等の協力依頼について	町内会費を安くできないか考えている中で、募金等の通知がいつも当たり前のように町内会にきますが、町内会加入者と未加入者の格差もありますし、高齢者もいますので見直していただきたいです。	しっかりと検討させていただきます。	市民環境部長	地域げんき課	市民環境部長回答のとおり
14	萱瀬ダム駐車場のトイレについて	萱瀬ダム駐車場のトイレの件について、排泄物が流れないので洋式に替えてほしいです。	洋式便器に替えていただくよう要望していきたいです。	都市整備部長	河川公園課	都市整備部長回答のとおり
15	地域げんき交付金について	市内8地区に交付金出していると思いますが、その金額を上げることはできませんか。周辺部は街部に比べて古い物が多いため、そのあたりも考慮して金額を配分していただきたいです。	地域げんき交付金につきましては、市内8地区に対して地域の繋がりを目的としたものに交付金を出しております。交付金の金額につきましては、他の地区からも同じ要望がありましたので、しっかりと検討していきたいと考えております。	市民環境部長	地域げんき課	市民環境部長回答のとおり
			地域げんき交付金は、8地区の様々な活動に対して、人口割、均等割で配分しております。各地域で状況が違いますので、均等割なのか、人口割とか若しくは何とか割なのか、ということは、今後十分考えさせていただきたいです。	市長	地域げんき課	市長回答のとおり
	郡川の水量の減少について	郡川の水の量が少なくなったのはなぜですか。	萱瀬ダムの嵩上げがあつて、河川の流量水量が少なくなったように見えるのかもしれませんが。萱瀬ダムは、利水と治水の多目的ダムということで地元のご理解をいただいたうえで整備をしております。河川流量についても、県と地元との話し合いのうえで流量を決定しているところですが、郡川下流の地域では、以前より流量が少なくなったので、どうにかならないかと意見が上がってくることはございます。	上下水道局長	水道工務課	上下水道局長回答のとおり

令和5年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(萱瀬地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
16	萱瀬ダムにおいて長崎市が持っている水利権について	また、今後大村市も人口が増加し、水が不足する可能性があるため、長崎市が持っている水利権を返してもらうことは可能でしょうか。	長崎市の方に、大村市は人口が増えるのでどうにかならないかと相談に行きましたが、過去に長崎市は水不足が深刻で、なおかつ、長崎市は地下水ではなく、ほとんどがダムの表流水から水を取られているので、人口は減っても、将来的な気候変動等のリスクを考えれば、大村市の方に水を出すことは、とても難しいと返事をいただいております。	上下水道局次長	水道工務課	上下水道局次長回答のとおり
			長崎市が持つる水利権を買い取ることは、将来的な可能性はあろうかと思いますが長崎市の意見としましては、萱瀬ダムから水を止めてしまった場合、長崎市の中の配水池に水を持つてくるのが非常に難しいので、すぐには難しいとご返事をいただいております。 しかし、災害時に大村市が渇水になった場合は、災害協定を結んでおりますので、その場合は長崎市から水を融通してもらうことは、可能です。 大村市の人口が10万人を超えて12万人、13万人と増えていく時であれば十分買い取りも可能かと思われませんが、いずれ大村市の人口は横ばい、減少となり、水の需要もなくなっていくしますので、水道料金の方に大きく関わってくることになります。 何か他の方法が活用できないか、水利権を譲ってもらうことも含め検討していきたいと思っております。	上下水道事業管理者	水道工務課	上下水道事業管理者回答のとおり